

1 題材 写真を撮る

学級活動（２）イ よりよい人間関係の形成

2 本時の学習

(1) 本時の目標

- 写真や動画を撮るときの基礎的な内容を学び、写真や動画を撮るときにはどんな点に気を付ければ良いのかを考え、実践しようとする事ができる。

(2) 事前の指導

活動及び内容	指導上の留意点【情報モラル教育の視点】
○ 端末のカメラを使って、自分や友達、教師や校内を撮影する。	○ 様々な写真を撮らせることで、カメラを使うことに慣れさせ、写真を撮ることを楽しいと感じさせることで、本時学習への意欲付けを図る。

(3) 指導過程

学習活動及び学習内容	指導上の留意点【情報モラル教育の視点】
1 本時の学習について話し合う。	○ 来週の校外学習で、カメラを持って行くことを伝えることで、本時学習へに対する課題意識をもたせるようにする。
2 これまで撮った写真を見て振り返る。	○ 自分の撮った写真や友達が撮った写真を見て話し合ったり、教師からの問いかけに答えたりする中で、それぞれの課題に気付かせ、自分事として課題を捉えられるようにする。 【自分事の捉え・自覚 イ】
○ めあて しゃしんをとるときには、どんなことに気をつければいいかな？	
3 「上手にとる」には、どうすればよいか考える。	○ 教師が撮影したうまく撮れていない写真を見ながら、どうすればよいのか考える。 【GIGA ワークブック（下）P35・36】
4 「勝手に写真をとってよいのか」について考える。	○ 勝手に写真を撮ってはいけないこと、勝手に写真を撮られて嫌だったときにどうすればよいのかを考える。 【情報モラルにおける判断力の育成 イ】 【GIGA ワークブック（下）P39・40】
5 本時学習について振り返る。	○ SSTを取り入れながら、具体的に指導し、実践に結び付くようにする。 【自分事としての捉え・自覚 ア】
○ まとめ しゃしんをとるときには、「とってもいいですか？」ときよかをとってから、さつえいする。いやなときには、「やめて」とつたえて、せんせいにいおう。	

6 実際にカメラを使って撮影する。	○ 本時の学習が生かせるように声掛けをし、できていたときには具体的に賞賛する。
7 来週の校外学習で、どんなことに気を付けてカメラを使えばよいか考える。	○ 本時で学んだことを振り返りながら、来週の校外学習への期待を高め、実生活での実践意欲をもたせるようにする。
カメラを撮影するときに気を付けることについて考え、そのことを意識しながら撮影の練習をすることができたか。 (観察)	

(4) 事後の指導

学習及び内容	指導上の留意点【情報モラル教育の視点】
○ 校外学習でカメラで撮影し、その写真を見ながら、学習したことが実践できたかどうか振り返る。	○ 保護者に通信で学習内容を伝え、家庭でもカメラの撮影について一緒に考えてもらう。 【家庭連携 ウ】

じょうず、しゃしん かんた
 上手な写真のとり方を学ぼう

たんまつのインカメラ^{つづ}を使って、自分の写真をとってみよう。
 どのようにとると、上手にとれるでしょうか。

35
 [かいせつへ](#)

かって、しゃしん
 勝手に写真をとられたら

とも
 友だちが、ふざけてあなたの写真を勝手にとってきました。
 あなたは、とてもイヤな気持ちになりました。
 こんな時、相手にどのようにつたえるとよいでしょうか？

39
 [かいせつへ](#)